

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月1日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|--|------|-------|
| 1 | <p>【多核種除去設備処理水貯槽34E(B-E1タンク)の水位計指示不良について】 1～4号機集中監視システムにて、多核種除去設備貯槽タンク34E(B-E1タンク)の水位計指示不良を知らせる警報(上限逸脱警報)の発生を当直員が確認。 当該計器のリセット操作を行い再度パラメータを設定し指示が復帰。 今後、原因を調査し、水位計の交換要否を検討。</p> | GⅢ | 8月26日 |
| 2 | <p>【6号機原子炉建屋排気ファン出口サンプリングポンプの地絡について】 6号機中央制御室において「P/C(6C、6D、6E)地絡電圧(V0)」警報の発生を当直員が確認。 現場を調査したところ、6号機原子炉建屋排気ファン出口サンプリングポンプ単体(内部)が地絡していることを確認した。 当該サンプルポンプは、スタックサンプルポンプの補助設備であり、現在スタックサンプルポンプ(A系運転、B系予備)が運転中のため、当該サンプルポンプが停止しても監視に影響はない。 今後、詳細原因の調査および対策を検討予定。</p> | GⅢ | 8月26日 |
| 3 | <p>【3号機タービン建屋低圧電源盤の母線絶縁抵抗不良について】 作業員が定期点検にて、3号機タービン建屋低圧電源盤の母線絶縁抵抗測定を実施したところ、絶縁抵抗値の低下を確認。 当該低圧電源盤の停止による支障となる負荷はなし。 推定原因は、高湿度環境による絶縁抵抗不良と思われるため、他の低圧電源盤への切替を検討中。</p> | GⅢ | 8月26日 |
| 4 | <p>【5号機計装用空気圧縮機(A)アフタークーラードレントラップ開固着について】 5号機中央制御室に「計装用空気圧縮機予備機起動」警報の発生を当直員が確認。 現場確認の結果、5号機計装用空気圧縮機(A)アフタークーラードレントラップを開閉させるフロートが「開」固着しており、水が流れない時もフロートが閉まらない状態となっていた。当該ドラントラップ出口弁を「全閉」し、計装用空気圧縮機を(A)から(B)に切替実施。 原因は、ドラントラップを開閉させるフロートの詰まりと思われるため、今後の対応について検討中。</p> | GⅢ | 8月30日 |